

REGプレカット工法の更なる標準化を推進

REGプレカット協議会

注目のサイディングプレカットで、REGプレカット工法の普及を進めるREGプレカット協議会（愛知県豊橋市、石原教行会長）は5月24日、JR豊橋駅前のホテルアークリッシュ豊橋で第8回総会を開催。総会には会員、関係者など多数が出席した。

総会で、まず挨拶した石原会長は、「今年、REGプレカットは八年目を迎えます。最初は現場での粉塵、騒音、廃材等の環境対策としての取り組みで始まったのですが、昨今は職人不足への対応のみならず、物流費用軽減や職場環境改善の面からも注目されています。今後は現場の環境を良くしないと人材確保は難しくなると思われます。どんな仕事も覚えるには時間がかかるので、仕事をやり易くする環境や簡単に仕事ができる仕組みを作り、それによって新人を即戦力にする必要があります。そうした意味でサイディングプレカットは、環境問題、人手不足、人材の育成などに対応できるようになってきたと思います。今年のテーマは、職人育成も含め総力化、標準化といったことにも取り組み、会員の方に広めていきたいと思います」と、サイディングの施工現場でも深刻化する人材不足への対応、またそれを可能にするREGプレカット工法の更なる標準化を進めていくと述べた。

総会は石原会長が議長となって進行し、2018年度の事業報告、会計報告、2019年度の事業計画、予算案などが原案通り議決された。事業報告では次のような結果が報告された。

- ・プレカットCADにより、積算タイミングだけでなく副資材も精度高く拾い出し、無駄を削減
- ・採寸データの統一により、海外CADセンターで加工データ作成
- ・職人不足への対応では、採寸標準化により短期間でプレカットできる職人を増強

加えて、大型パネルなどの採寸不要のプレカットへの検証についてもスタートしており、今後検証を進めていく。また、サイディング以外の材料でのプレカッ



総会で挨拶を述べる石原教行会長

ト技術の向上では、石膏ボードの加工で成功事例があり、新たなプレカット分野の開発にも積極的だ。

なお、同協議会の事業計画は次の通りである。

- ①現場採寸の標準化
(REGとしての採寸方法統一・見直し・改善)
- ②ホームページ開発・リニューアル
(見やすく分かりやすい内容に変更しボリューム増、定期的更新、職人の声・意見など掲載)
- ③サイディング以外のプレカット技術向上
(面材・耐力壁等のプレカット、石膏ボード・軒天材等、ゼロ切断の切り替え・対策等の検討)
- ④販促ツールの更新
(カタログ内容の変更・更新)
- ⑤施工面でのより高いレベルの標準化
(同業との差別化等)

同協議会の会員は次の通り。

- 特別会員 イシハラ(株)、ニチハ(株)、ネットイーグル(株)、(株)平安コーポレーション
- 正会員 (株)タカカツ建材、外装テックアメニティ(株)プレカット事業部、SDプレカット建装(株)、(株)立枝工建、南陽吉久(株)
- 準会員 明弘(株)、(株)井桁藤、(株)ゴトー商会
- 賛助会員 旭トステム外装(株)、ケイミュー(株)、伊藤忠建材(株)静岡支店、住友林業(株)、双日建材(株)、SMB建材(株)